

飼料用米の多収品種の取組(品種名:みなゆたか)

取組主体名:(農)フラップあぐり
北三沢(青森県三沢市)

基本情報

- ・ 気象はヤマセの影響を強く受ける寒冷地帯。
- ・ 構成員 14戸
- ・ 従業員 4人
- ・ 経営面積95ha、
うち飼料用米面積91ha
- ・ 飼料用米作付開始年度 H24

取組の経緯等

- ・ ほ場整備事業を契機として農地を面的に集積し、安定した農業生産を図るため地域の担い手を中心とした農事組合法人フラップあぐり北三沢を設立
- ・ 機械は機械銀行や構成員所有物及びリース事業で導入
- ・ 水田全面積で飼料用稲に取組み、生産物は耕畜連携により、サイレージ形態またはサイレージ用生粳で畜産農家と売買契約

取組のポイント

- ・ 多収品種みなゆたかによりSGS、WCSに取組
- ・ 乾田直播栽培により生産コストを削減
- ・ 全ほ場に「地下水位制御システム(FOEAS)」を設置

データ

	栽培方法	作付面積		単収(/10a)	
		H26	H27	H26	H27
飼料用米(SGS) (品種:みなゆたか)	乾田直播	72ha	80ha	粳585kg (玄米換算432kg)	粳573kg (玄米換算424kg)
飼料用米(WCS) (品種:みなゆたか)	乾田直播	19ha	11ha	6.7ロール/10a (300kg/ロール)	6.2ロール/10a

生産コスト低減の取組

- ・ グレンドリルシーダー、スリップローラーシーダーによる乾田直播で省力・低コスト化を図っている。
- ・ 生産コストは慣行の86%程度(H27データ)
- ・ 全ほ場に「地下水位制御システム(FOEAS)」を設置している。



課題・今後の目標

- ・ 早生の多収品種の導入による安定生産
- ・ FOEASを活用した永年転作ほ場を含めた全ほ場の活用